

2026年5月29日

株式会社みずほフィナンシャルグループ

[宛先のお名前を記載]

株式会社ストラテジックキャピタル

代表取締役 丸木 強

maruki@stracap.jp

## 株式会社オリエントコーポレーション株式売却に関して

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、2026年5月15日、株式会社みずほフィナンシャルグループ（以下「貴社」といいます。）の完全子会社である株式会社みずほ銀行は、保有する株式会社オリエントコーポレーション（以下「オリコ」といいます。）株式のうち議決権15.0%相当をムミノバホールディングス株式会社（以下「ムミノバ」といいます。）へ2026年6月1日付で譲渡（以下「本件譲渡」といいます。）し、併せて3社間で業務提携契約を締結する旨を公表されました。本件譲渡後も、みずほ銀行は議決権の33.79%を保有する筆頭株主にとどまる予定です。

弊社は、貴社とオリコの関係について、完全子会社化又は完全売却により、親子上場に類する歪な関係と混沌としたリテール事業体制を解消すべきであると申し上げて参りました。これに対し、本件譲渡は、みずほ銀行が持分を一部減らす一方で、なお実質的な影響力を残すものであり、弊社が問題視してきた構造の解消になってはおりません。

また、提携内容の多くは「検討」ととどまり、オリコの企業価値向上にどの程度寄与するのか、現時点の開示からは判然としません。オリコ及び貴社リテール事業の具体的な価値向上策が示されないまま、発表翌営業日にオリコ株価が約14%下落した事実を、貴社は重く受け止めるべきであります。

本件譲渡は、貴社にとっては、弊社からの株主提案を契機とする批判を和らげつつ、オリコの大株主に留まるためだけのものと受け止められかねません。少なくとも、そうした疑念を払拭するだけの説明は現時点でなされていないと考えております。

弊社は、オリコの大株主であると同時に、貴社の株主でもあります。貴職におかれては、貴社のリテール戦略におけるオリコ、UCカード、楽天カードその他の提携先の位置付け、本件譲渡先をムミノバとした理由、譲渡割合を15%にとどめた理由、及びオリコ株主価値向上に対する貴社の責任ある関与方針について、具体的に開示いただくよう要望いたします。

弊社は、貴社とオリコとの歪な関係を曖昧なまま残すことなく、貴社のリテール事業の競争力向上と、オリコの株主価値向上が両立する資本政策を求めています。今般、貴社への株主提案は取り下げましたが、再度、貴社との建設的な議論の機会をいただけますよう、お願い申し上げます。

以上